

重点取組分野の数値目標と達成に向けた取組

重点取組 の分野	R10（2028）年度の数値目標	令和7年度の取組
動物福祉	動物福祉評価の全項目のうち「×：改善が必要」「△：改善の余地がある」と評価された項目の割合：全項目の5%以下 (参考：R4（2022）年度評価：21.2%)	R6（2024）年度評価を実施する。 (：R5（2023）年度評価：34.0%)
保全	放鳥・モニタリングするオオワシの累計数：5羽	オオワシの放鳥に伴う技術的懸念の解消のため科学的知見の集積に取り組むとともに、引き続きオオワシの関係者との合意形成を図る。 (R6（2024）年度：0羽)
保全	認定動物園等への研修会実施件数：年2回	認定動物園となった施設が今のところないため、研修会実施は未定。 保全活動連携協議会（準備会）の開催等により情報共有・連携に取り組むほか、準認定施設への必要な情報提供や助言等の支援によりステップアップを図る。また、未登録施設に対し、準認定施設への登録に向け働きかけを行う。 (R6（2024）年度研修会実施：0件)
教育	園内イベントへの参加を通じて生き物と人との関わりの大切さを理解した人の割合：100%（イベント参加者アンケート）	園内イベント等（子どもの1日飼育係、円山ZOOナイトツアー等）を通じて、生き物と人との関わりの大切さへの理解を促進する。 (R6（2024）年度：92.9%)
調査研究	HP掲載の調査研究報告書等の閲覧回数：毎年増加	論文、報告書等の更新を適宜行うことにより、閲覧回数の増加を目指す。 (R6（2024）年度：1,226回)
リ・クリエイション	円山動物園を他の人にも勧めたいと答えた人の割合：75%（来園者アンケート） (参考：R4（2022）年度63%)	円山ZOOガイドや各種教育プログラムを通じて来園者の満足度を上げていく。 (R6（2024）年度97.3%)
リ・クリエイション	円山動物園にまた来たいと回答した人の割合：79%（来園者アンケート） (参考：R4（2022）年度74%)	来園者の観覧環境の充実を図るため、以下の取組を継続していく。 ・園内掲示の見直し ・来園者から寄せられた意見等への速やかな改善・対応 (R6（2024）年度97.9%)
基盤整備	持続可能な運営手法の導入検討	経営基盤の安定化や基金の活用など持続可能な動物園運営の在り方について検討する。
施設整備	園内施設の修繕必要件数：73か所 (参考：R4（2022）年度169か所)	各案件の優先順位、修繕方法等を決め、修繕を進めていく。 (R6（2024）年度：117か所)
施設整備	施設保全計画の策定	外壁や屋上防水、ポンプや照明などの設備の長期修繕計画策定に向けて、劣化調査等を実施していく。
施設整備	北海道ゾーン基本方針策定に向けた調査研究の実施	昨年度の検討結果を踏まえ、北海道ゾーンの取り組み内容や展示手法について大学等との調査研究を進め、基本方針策定を目指す。